

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|------------|
| ○事業所名 | 児童デイサービスたんぽぽ | | |
| ○保護者評価実施期間 | R7年1月10日 | | ～ R7年2月14日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 20 | (回答者数) 20 |
| ○従業者評価実施期間 | R7年1月9日 | | ～ R7年2月10日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 9 | (回答者数) 9 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R7年3月21日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|---|
| 1 | ホッとできる、安心できる場の提供 | ・自己決定を尊重し、安心して過ごせるように職員同士で話し合い、より良い環境を目指し支援している。 | ・安全に過ごせるように職員間での話し合う場を増やし、反省や成功を話し合える場を設ける。 ・人材募集をし、更に個々の子どもたちと向き合えるように体制を整える。 |
| 2 | 保護者との交流 | ・夏祭りや運動会など保護者参加のイベントや年一回の保護者会、個別面談などで交流できるようにしている。 | ・保護者参加、見学できるイベント(保護者と一緒に野菜を取獲、一緒に工作)などを増やす。 ・保護者会の他に保護者同士が気軽に交流できるような場を提供する。 |
| 3 | プログラムの柔軟性 | ・子ども達はその日の活動を選ぶことで柔軟性が生まれる。 ・季節の工作や野菜の取獲体験など様々なプログラムを固定化されないようにしている。 | ・週番と当番で活動の得点係や進行などを一緒に行う等役割を与えていく。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 家族支援やペアレントトレーニングなどの研修、情報の提供 | ・外部の研修の情報収集が足りない。 | ・外部の情報など積極的に取り入れ情報発信していく。 ・保護者参加のイベントや活動を増やし、交流出来る機会を増やしていく。 |
| 2 | 地域参加や地域との交流。 | ・長期休みや土曜日に地域のイベントに参加したり、お買い物体験や体育館利用時の受付、お隣の畑で取獲体験など地域との関わりを持っていく。 ・コロナ以降児童館の利用が減ってきました。 | ・地域の情報を収集し、活用していく。 ・コロナ以降利用が減ってしまった児童館の利用を増やしていく。 |
| 3 | 関係機関との連携 | ・学校などではお迎え時に先生とお話しする機会があるが本児もいる前で詳しくできなかったりする。 ・外部機関の活用や連携が少ない。 | ・必要な際は積極的に連絡を取り情報を共有していくと共にケース会議など開催しやすい関係を構築していく。 |